

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21800	環境都市推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画	市長公約	日本一の自然エネルギー活用都市を目指して 高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、風、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、日本一の自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)を目指します。
				款	2	総務費		基本分野	2		環境・景観		
担当課		内線	2282	項	1	総務管理費	分野	1	地球環境	H27実施計画額	千円		
				目	19	環境政策費	施策概要	5	自然エネルギーを活かしたまちづくり				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・環境審議会の開催 ・環境に関するイベントや講演会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の運営
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市環境審議会の開催(審議会3回) ・高山市新エネルギービジョンの策定 ・高山エネルギー大作戦の実施 							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	活動指標	環境審議会(意見交換会含む)開催回数	回	目標値	10	10	5	5
				実績(見込)	5	3	5	
	算出根拠等		達成率(%)	50	30	100		
	活動指標	高山エネルギー大作戦フォーラムへの参加者数	人	目標値		400	400	400
				実績(見込)	-	450	400	
	算出根拠等		達成率(%)		113	100		
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等		達成率(%)						
成果面			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・行政だけでなく、市民、事業者が連携し、協働して省資源や環境保護などの環境活動に取り組む必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市環境審議会、意見交換会を開催する。 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会を開催し、自然エネルギー導入における「飛騨高山モデル」の仕組みづくりに取り組む。 ・高山エネルギー大作戦を実施し、市民及び事業者の意識啓発を図る。 ・市民との協働により環境に関する取り組みが進むよう、市民活動団体等との連携や市民参加による事業推進に取り組む。 		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	・地球環境の保護と市民の環境意識の向上を継続的に図る。
		縮小	・自然エネルギー利用日本一の環境都市に向け、新エネルギーの導入と省エネルギーの推進を図る。
		廃止検討	・市民との協働により環境に関する取り組みが進むよう、市民活動団体等との連携や市民参加による事業推進に取り組む。
	○ 維持・改善	拡大	(担当課評価に同じ)
		縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,666	10,847	9,210	11,385
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	39	118	101	124
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会の開催 ・高山市地球温暖化対策地域推進計画、高山市新エネルギービジョンの推進 ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・自然エネルギー普及啓発事業の実施 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会による「飛騨高山モデル」構築に向けた取り組みの深化 ・自然エネルギー利用の普及啓発による市民参加の仕掛けづくり 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・行政だけでなく、市民、事業者が連携し、協働して環境活動に取り組む必要がある。 ・環境負荷の少ない再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの自給自足を目指す必要がある。
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	9,210	11,385	2,175	5,993	6,993	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・自然エネルギーによるまちづくり、普及啓発の推進に必要な経費を計上 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体との連携による子ども向けワークショップの開催等に必要な経費を増額
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	9,210	11,385	2,175	5,993	6,993		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21810	森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画	市長公約
	課			2	総務費	基本分野		2	環境・景観	高山市地球温暖化対策地域推進計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線 2282	項	1	総務管理費	実施計画事業	分野	1	地球環境	H27実施計画額	森林づくり交流推進事業	千円
	目	19		環境政策費	施策概要	4		低炭素社会の形成					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	事業の実施手法(手段)	・都市部の自治体、企業等とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、エコツアーなどを実施し、交流・連携を図る。 ・間伐材を始めとした地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部の自治体、企業等へのPRなどを推進する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・千代田区との協定による森林整備工事(除伐・枝打ち約10ha)、みどりとふれあうフェスティバルへの出展 ・みなと森と水サミット2014、建築・建材展2014に参加							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	都市部の自治体・企業等との連携交流イベント実施回数	回	目標値	2	3	3	3
				実績(見込)	2	2	3	
	算出根拠等			達成率(%)	100	67	100	
	活動指標	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録事業者数	件	目標値	15	20	20	20
				実績(見込)	11	12	14	
	算出根拠等			達成率(%)	73	60	70	
	成果指標	都市部とのカーボンオフセット事業による二酸化炭素吸収量	t-CO2	目標値	78	78	78	78
				実績(見込)	90	128	130	
	算出根拠等			達成率(%)	115	164	167	
	成果指標	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度による港区内建築物への木材供給事業者数	件	目標値	1	2	2	3
				実績(見込)	1	1	2	
算出根拠等			達成率(%)	100	50	100		
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・CO2削減に向けた都市部の自治体・企業等との継続的な取組みの仕組みづくりの検討が必要である。 ・都市部と地元の住民や事業所同士が自主的に連携活動ができる体制づくりが必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・カーボンオフセット事業による地球温暖化対策を推進するとともに、都市部の自治体、企業等の各種イベント・行事に参加し、連携・交流のきっかけづくりを行う。 ・地域材の流通の促進を図られるように積極的なPRや関係機関への働きかけを行う。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・高山市の森林づくり等による都市部との地域間交流を、今後は環境面だけでなく観光や地域活性化にもつながるよう、庁内の連携を図る。 ・森林のCO2吸収量の拡大を図るため、千代田区との連携強化とみなとモデルの推進を図るとともに、新たな自治体・企業との連携をすすめる。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・引き続きCO2排出量取引などの財源確保に繋がるような取り組みを行う必要がある。 ・「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」については港区内建築物への木材供給の実績を上げられるよう取り組む必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	5,605	5,276	4,600	5,874
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	60	57	50	64
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・東京都千代田区との連携、交流 ・東京都港区との連携、交流 ・都市部の自治体・企業等との新たな連携、交流の検討	要求のポイント	・東京都千代田区との森林整備(カーボンオフセット)事業の実施 ・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	事業実施の課題	・CO2削減に向けた都市部の自治体、企業等との継続的な取組みの仕組みづくりの検討が必要である。 ・地域材の流通の促進を図るPR方法を検討する必要がある。
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,600	5,874	1,274	5,350	5,350	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金	2,400	3,020	620	3,000	3,000		
その他	800	1,000	200	1,000	1,000		
一般財源	1,400	1,854	454	1,350	1,350		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21820	自然エネルギー普及促進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	概観計画	高山市環境基本計画	市長公約
	課			2	総務費	基本分野		2	環境・景観		高山市新エネルギービジョン	
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線 2282	項	1	総務管理費	分野	1	地球環境	実施計画事業	自然エネルギー普及促進事業	千円
	目	19		環境政策費	施策概要	5		自然エネルギーを活かしたまちづくり	H27実施計画額			

日本一の自然エネルギー活用都市を目指して高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、風、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、日本一の自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)を目指します。家庭・事業所・施設などにおける自然エネルギー活用モデルエリアを整備します。

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・自然エネルギーを活用した「飛騨高山モデル」の構築などによる自然エネルギーを活かしたまちづくりの推進	概要	事業の実施手法(手段)	・太陽光発電や木質バイオマス利用設備の導入に対する助成 ・市民や事業者による新エネルギー設備の導入促進
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・ペレットストーブ等の設置、ペレット燃料等の購入に対する助成 ・太陽光発電システム設置に対する助成					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	ペレットストーブ等導入台数	台	目標値	105	105	250	250
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	82	92	100	
	達成率(%)		78	88	40		
成果指標	住宅用太陽光発電システムの市内導入世帯数	世帯	目標値	550	670	910	1,000
	算出根拠等		実績(見込)	581	調査中	調査中	
成果指標	達成率(%)		106				
	算出根拠等		目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)						
成果指標	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・ペレットストーブ等の設置に対する補助件数は、ほぼ横ばいであり、当初の見込みに対して十分な実績があがっていない。 ・市民及び事業者への周知を効果的に行い、本事業の活用促進を図る必要がある。 ・木質バイオマスの利用をより一層促進できるような補助内容の変更を検討する必要がある。 ・市民、事業者の新エネ、省エネに対する意識喚起と導入に向けた機運を高める必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・制度利用者アンケートを実施し、事業の検証を行うとともに利用者の意見を制度活用の推進につなげる。 ・ペレット以外の木質バイオマス燃料(薪・木屑(チップ))を使用するボイラーに対する補助等を検討する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・申請件数はほぼ横ばいであるが、CO2排出量の削減、木質バイオマスの活用による循環型社会の構築に大きな効果が期待できるため、引き続き実施する。 ・ペレット燃料の価格は、化石燃料との価格差が小さくなっているため、本年度までの実施で制度を廃止するとともに、需給システムの確立を検討する。 ・木質バイオマスの利用をより一層促進できるような補助内容を検討するとともに、他の事業とも併せて木質バイオマスの利用を促進する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地球温暖化対策における木質バイオマスの有効性について、市民の理解を深める取り組みを行う必要がある。 ・CO2排出量がどの程度削減されたのか、事業の効果検証を行う必要がある。 ・公共施設への新エネルギー導入に際しては、民間事業者への「屋根貸し」も含め、効率的な手法を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	25,088	16,038	56,000	105,505
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	91,229	76,737	150,538	200,962
	受益者 助成制度利用者	(B)	275	209	372	525

5 予算編成(Action2)

事業内容	・ペレットストーブ、薪ストーブの購入に対する助成 ・ペレットボイラー、薪ボイラーの購入に対する助成 ・太陽光発電システム等の設置に対する助成	要求のポイント	・「屋根貸し」による公共施設への太陽光発電システムの導入 ・太陽熱利用システムの設置に対する助成 ・コミュニティ団体等による自然エネルギー設備導入等モデル事業に対する助成	事業実施の課題	・市民等への周知を図り、自然エネルギーの導入を促進する必要がある。
------	--	---------	---	---------	-----------------------------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	56,000	105,505	49,505	30,000	30,000	・積算内容を精査 ・太陽光発電システムに対する助成は、普及が進むとともに導入コストも低下してきたため平成26年度で終了	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	56,000	105,505	49,505	30,000	30,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21840	地球温暖化対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画	市長公約
	課			2	総務費	基本分野		2	環境・景観	高山市地球温暖化対策地域推進計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	1	総務管理費	実施計画事業	分野	1	地球環境	H27実施計画額	地球温暖化対策事業	千円
	2282			目	19	環境政策費		施策概要	5	自然エネルギーを活かしたまちづくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・省エネルギー活動の推進やクリーンエネルギー自動車普及の促進、温室効果ガス吸収対策の推進などによる低炭素社会の形成	概要	事業の実施 手法(手段)	・温室効果ガスの排出量削減に向けた市民、事業者、行政が取り組む具体的な行動内容や普及啓発の実施 ・公共施設での省エネルギーの取り組みの推進やインフラの整備 ・公用車への率先導入や情報提供・意識啓発の実施、電気自動車等の充電設備の整備などによるクリーンエネルギー自動車普及の促進
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車用急速充電器の設置 2基 防災拠点施設整備事業の実施(基本設計) 電気自動車を活用した観光モデル実証実験 公共施設のLED照明化、施設緑化用樹木の購入 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	施設緑化用樹木配付本数	本	目標値	2,500	3,000	2,500	0
		実績(見込)	2,706	2,495	2,000			
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	108	83	80	
		温室効果ガス排出量の削減率	%	目標値	25	25	25	25
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)	21	未公表	未公表	
		達成率(%)		85				
	成果指標	電気自動車用急速充電器利用台数	台	目標値	365	730	1,460	2,190
		算出根拠等		実績(見込)	329	985	1,500	
	補足			達成率(%)	90	135	103	
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量削減のために、地域特性に合った新エネルギーの導入をすすめる。 市民、事業者の新エネ、省エネに対する意識喚起と導入に向けた機運を高める必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点施設(指定避難所)に新エネルギー等を導入し、防災力の強化と環境負荷の小さい低炭素型の地域づくりを推進する。 電気自動車用急速充電器を設置し、次世代自動車の導入を促進させ、一層のCO2削減を図る。 	
次年度の 実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 新エネルギーの導入にあたっては、地域活性化や新産業創出の視点を組み入れるとともに、国のエネルギー政策の見直しの動向に留意する必要がある。 CO2排出量などの程度削減されたのか、事業の効果検証を行う必要がある。 公共施設への新エネルギー導入に際しては、民間事業者への「屋根貸し」も含め、効率的な手法を検討する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,183	31,069	518,000	22,688
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	77	337	5,655	248
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量削減に向けた地球温暖化対策の推進 電気自動車用急速充電器の設置 施設緑化用の樹木購入 	要求のポイント	・電気自動車用急速充電器の設置	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策地域推進計画の推進 電気自動車用急速充電器の課金システムの導入等の検討
------	---	---------	-----------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	188,000	22,688	△ 165,312	22,200	22,200	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 公共施設の緑化用苗木購入は、土木費緑地保全推進事業費に計上 	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	8,000	8,800	800	12,000	12,000		
	一般財源	180,000	13,888	△ 166,112	10,200	10,200		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21850	生物多様性保全推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市環境基本計画	市長公約
	課			2	総務費	基本分野		2	環境・景観		生物多様性ひだたかやま戦略	
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内 線	項	1	総務管理費	分野	1	地球環境	実施計画事業	生物多様性保全推進事業	千円
	2282			目	19	環境政策費		施策概要	3		生物多様性の保全	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などによる生物多様性の保全	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> いのちの森づくりの実施による土地本来の木による森林整備やいのちの尊さの啓蒙 自然環境学習や山の自然環境学習の実施による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 特定外来生物に関する知識の普及や駆除活動の実施 地域の豊かな自然や貴重な動植物の保護保全
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> いのちの森づくりの開催 自然環境学習の開催 山の自然学校の開催 特定外来生物防除講習会の開催、奨励金制度の実施 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	いのちの森づくり開催回数	回	目標値	15	15	5	5
			実績(見込)	11	5	2	
算出根拠等			達成率(%)	73	33	40	
活動指標	山の自然学校の開催回数	回	目標値	6	6	6	6
			実績(見込)	4	6	6	
算出根拠等			達成率(%)	67	100	100	
成果指標	いのちの森づくりへの参加者数	人	目標値	310	310	310	310
			実績(見込)	800	280	153	
算出根拠等			達成率(%)	258	90	49	
成果指標	自然環境学習への参加校数	校	目標値	31	31	31	31
			実績(見込)	20	13	19	
算出根拠等			達成率(%)	65	42	61	
成果指標	山の自然学校への参加者数	人	目標値	120	120	120	120
			実績(見込)	100	202	130	
算出根拠等			達成率(%)	83	168	108	
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担を設けない事業であるため、国等の補助金の活用や民間団体等との連携を検討し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。 民間団体等の類似する自然環境学習活動と連携した取り組みが必要である。 より多くの学校の参加が広がるような取り組みが必要である。 いのちの森づくりでは、場所の確保が必要であり、民間の協力体制を検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 広く市民を対象とした自然環境教育については、山の自然学校の内容を見直し、民間で実施している活動と連携する等、効率的な環境教育の実施を図っている。 小中学生の自然環境学習については、市内全小中学校が同じ取り組みとして進めていけるよう、教育委員会と調整する。 外来生物に関する更なる周知を図り、各地域で自主的に取り組みが行われる仕組みづくりをすすめる。 いのちの森づくりについては、民間への協力を依頼している。 	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降も教育委員会及び民間団体等との連携を密にこり、積極的に環境教育活動を進めていく。 国、県等の補助金の活用や民間団体等との連携を推進する。 外来生物駆除への更なる啓発活動と駆除講習会の開催などによる市民の参画を働きかけていく。 いのちの森づくりの場所の確保や実施方法及び民間の協力体制の検討をすすめる。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
○ 維持・改善		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,025	7,250	9,135	11,492
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	43	79	100	125
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性への関心と理解を深め、自然環境保全への意識を高めるための各種事業 いのちの森づくり 山の自然学校 自然環境学習 特定外来植物の駆除 など 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地元町内会や民間団体、地域在住の講師などと連携した環境保全への取り組みや環境学習の実施 子供たちへの地域の素晴らしい自然の体感と、自然保護の大切さを学ぶ機会の提供 自然観察講習会の開催 	事業 実施 の 課題	<ul style="list-style-type: none"> より多くの市民や学校等の参加が広がるような仕組みづくりが必要
------	---	-------------	--	---------------------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財 源 内 訳	歳出(千円)	9,135	11,492	2,357	9,455	9,455	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	3,000	3,200	200	3,000	3,000		
	その他			0				
	一般財源	6,135	8,292	2,157	6,455	6,455		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	62300	自然公園等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	概観計画	高山市環境基本計画	市長公約
	課			6	商工費	基本分野		2	環境・景観		実施計画事業	
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	2	観光費	分野	1	地球環境	H27実施計画額	千円	
	2282			目	3	自然公園費		施策概要	1			自然環境の保全と活用

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・地域特有の自然資源や希少動植物の保護、自然公園等の保全と利用の推進などによる自然環境の保全と活用	概要	事業の実施手法(手段)	・国立公園、県立自然公園等の適正利用やユネスコ世界自然遺産、ジオパーク、ユネスコエコパークの取り組みを進める。 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の維持管理を行うことにより、適正な利用と利用者の安全確保を図る。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森市民ツアーの実施 乗鞍山麓五色ヶ原の森の適正管理、植生調査の実施 乗鞍スカイラインの適正管理と乗鞍フォーラム開催による乗鞍岳の環境保全啓発の推進 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		乗鞍山麓五色ヶ原の森の入込者数	人	目標値	7,500	7,500	7,500	7,000
	算出根拠等		実績(見込)	5,481	4,953	3,602		
	活動指標	乗鞍スカイラインの入込者数	人	達成率(%)	73	66	48	
		算出根拠等		目標値	200,000	200,000	200,000	200,000
	活動指標	乗鞍フォーラムの参加者数	人	実績(見込)	164,946	166,774	126,516	
		算出根拠等		達成率(%)	82	83	63	
	補足	目標値		500	500	500	500	
		算出根拠等		実績(見込)	250	250	500	
補足	達成率(%)		50	50	100			
	算出根拠等		目標値					
補足	実績(見込)							
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 乗鞍については、国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携強化を推進し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。 市民を始め全国からの観光客が安全で快適な登山を楽しむために、山岳トイレの設置等登山者の利便性の向上を図る必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、環境休養日を設ける取組みを継続するとともに、案内人のスキルアップを図るため研修内容等も充実し、五色ヶ原の森自然保護審議会の意見をふまえた取組みを実施する。 乗鞍については、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 												
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、引き続き環境休養日を設け、自然環境への負荷に配慮した誘客への展開を図るとともに、五色ヶ原の森自然保護審議会の意見を生かした取組みを実施する。 乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、今年度見直しとなる乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 登山道整備に関し、事業者と協力し国等の補助を活用しながらトイレの整備等登山者の利便性を図ることを検討する。 </td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二次評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="2">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、引き続き環境休養日を設け、自然環境への負荷に配慮した誘客への展開を図るとともに、五色ヶ原の森自然保護審議会の意見を生かした取組みを実施する。 乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、今年度見直しとなる乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 登山道整備に関し、事業者と協力し国等の補助を活用しながらトイレの整備等登山者の利便性を図ることを検討する。 	評価	拡大	二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)	縮小		廃止検討	
	担当課	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、引き続き環境休養日を設け、自然環境への負荷に配慮した誘客への展開を図るとともに、五色ヶ原の森自然保護審議会の意見を生かした取組みを実施する。 乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、今年度見直しとなる乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 登山道整備に関し、事業者と協力し国等の補助を活用しながらトイレの整備等登山者の利便性を図ることを検討する。 										
評価	拡大												
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)											
	縮小												
	廃止検討												

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 71,490	60,172	60,678	77,631
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 770	653	662	847
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	乗鞍山麓五色ヶ原の森や乗鞍スカイライン、その他自然公園などの適正管理 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森の管理運営(指定管理者制度) ・乗鞍スカイラインの適正利用 ・中部北陸自然歩道や既設登山道の維持管理	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園内施設の改修整備による利用者の安全確保 ジオパーク・ユネスコエコパークの推進 山岳トイレの整備に対する助成 	事業実施の課題	・自然環境保全と地域振興のバランスや利用者の安全面を考慮した事業の展開
------	---	---------	---	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	58,178	77,631	19,453	68,060	68,060	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 乗鞍山麓五色ヶ原の森生態系調査の実施、山岳トイレの整備に対する助成に必要な経費を計上 	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	11,970	16,412	4,442	17,130	17,130		
その他	200		△200	302	302		
一般財源	46,008	61,219	15,211	50,628	50,628		